

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

(特定非営利活動法人こどもプロジェクト)

1. 事業の成果

2011年3月11日に発生した東日本大震災、および福島原発事故で被災し東京に避難している親子の居場所リベルタを杉並区阿佐谷に2017年に常設し、令和3年度も引き続き福島県補助事業で運営した。コロナ感染拡大2年目で活動は制限されたが、孤立した避難者が精神的にストレスを抱えており、居場所があり同郷者と集まれることが心の支えとなっていると聞いて感染対策をしながら継続して運営をつづけた。福島から避難している親子が居場所を通じて地域と連携するために2018年より始めた月2回のこども食堂は、令和2年度よりコロナ禍でテイクアウトになり令和3年は毎回100名を超える支援となった。

さらに東京の中央部である武蔵野市(成蹊大学)に広域フードバンク大型拠点をつくり、こども食堂とパントリーを防災の拠点として物流を整備するというプロジェクトを進めるため、武蔵野市吉祥寺のリベルタセカンドでの成蹊生と武蔵野市在住の避難親子限定のこども食堂パントリーを月1回実施し、武蔵野市との連携を図ることができた。杉並区のこども食堂ネットワークに所属し、杉並区内にもフードバンクの拠点事業ができないか検討を重ねて、立正佼成会から本部敷地内に倉庫を借りることが実現した。

こども食堂を通じて一般の人にも広めながら避難親子を中心に食育としての玄米調味料や無添加食品の推進を行い、子どもたちが健康で健やかに育つような環境づくりを行った。

事業の実施に関する事

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
子どもの居場所づくり・奉仕体験事業	避難親子支援・交流カフェ運営・こども食堂等	令和3年4月～令和4年3月まで	東京都杉並区、武蔵野市	15名	子育て家庭、福島避難者、支援者 800人	18,900
次世代育成支援対策推進事業	避難親子食育、玄米発酵調味料の普及	令和3年4月～令和4年3月まで	東京都内	3名	子育て当事者、福島避難者、300人	550

(2) 営利活動に係る事業 なし